

今年は 6 月の低温傾向から、コシヒカリの幼穂形成期（幼穂が 2 mm になる頃）が、平年より遅くなる見込みです。ほ場によって差があるので生育状況を確認し、適期作業の実施をお願いします。

また、今年の夏も暑くなると予想されているので、肥効調節型（一発）肥料においても葉色が薄い場合は、出穂直前までに追加穂肥を施用し、適切な葉色に誘導してください。

【コシヒカリの生育状況】

[7月3日調査(白井谷)]

調査年	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色	幼穂形成期	出穂期
H 2 9	5/11	52.2	618	10.7	4.1	予想 (7/12)	予想 (8/3)
H 2 8	5/15	62.4	503	11.2	4.1	7/9	7/31
平年値 H22~28	5/11	61.1	493	11.2	4.2	7/10	8/1

1. コシヒカリの穂肥施用

～穂揃期の葉色を 4.2～4.5 へ誘導！～

【分施の場合】 穂肥: NK グリーン 30

- ・ 1 回目の穂肥は幼穂長 15mm（幼穂 2 mm 確認後 8 日目）を基本とし、草丈が長く葉色が濃い場合は、施用時期を少し遅らせ減肥して下さい。また、極端に草丈が長い場合には、倒伏を回避するために施用を控えましょう。
- ・ 2 回目の穂肥は 1 回目の 7 日後を目安に基準量を確実に施用しましょう。

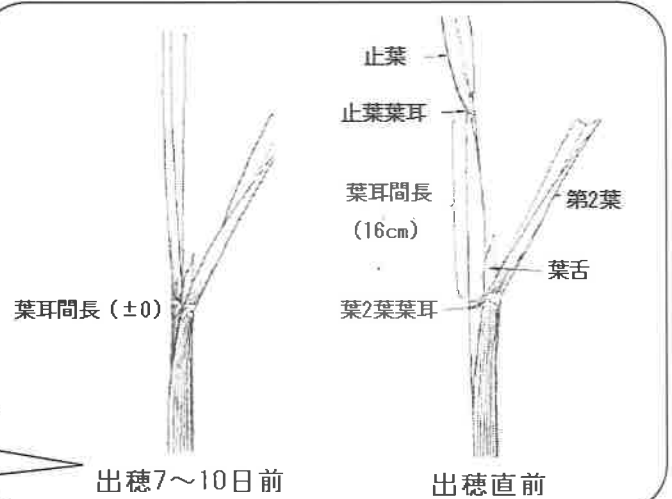
【幼穂長から見た穂肥施用時期の目安】

幼穂長	幼穂 15mm まで
2 mm	→ 8 日後
5 mm	→ 4～5 日後
10 mm	→ 3 日後

	幼穂長 15mm 頃の 稲の姿		1 回目穂肥		2 回目穂肥	
			施用時期	施用量	施用時期	施用量
適正な生育	草丈 85cm 未満	茎数 430本/m ² 程度	幼穂長 15mm (幼穂長 2mm 確認後 8 日目)	10 kg/10a	1 回目穂肥の 1 週間後	12 kg/10a
	葉色 3.6 程度					
生育やや旺盛	草丈 85～90cm	茎数 480本/m ² 程度				
	葉色 3.8 程度	幼穂長 20mm (幼穂長 2mm 確認後 10 日目)	7～10 kg/10a	1 回目穂肥の 1 週間後	10～12 kg/10a	
生育旺盛倒伏危険	草丈 90cm 以上	茎数 500本/m ² 程度	1 回目は施用しない！		出穂 1 週間前 (幼穂長 2mm 確認後 15 日目)	10～12 kg/10a
	葉色 3.8 以上					

【基肥一発肥料の場合】

基肥に肥効調節型（一発）肥料を施用したほ場でも、必ず出穂 7～10 日前（5/10 田植えで、7/24 頃）に葉色診断を実施し、葉色が 4.0 以下の場合は、出穂 3 日前までに NK グリーン 30 を 5～10kg/10a 施用しましょう。



一発肥料も追加穂肥で
暑い夏を乗り切ろう！

2. 今後の水管理

【出穂期まで】～きめ細やかな水管理で根の活力を維持！～

- ・ 幼穂形成期以降は^{ほうすい}飽水管理としてください。
(飽水管理は、「ほ場に入水→自然減水→足跡の水が無くなる前に入水」の繰り返しです。)

【出穂期以降】～稲体の活力を維持し、登熟を向上！～

出穂後20日間は湛水状態(田面が出ない程度)を保ち、稲体の活力を維持しましょう。



《注意》フェーンが予想される場合は、事前に入水しましょう！

3. 病虫害防除

6月22日
カメムシ注意報発令！

- 今年には昨年以上に雑草地で多くのカメムシが確認されています。
斑点米の発生を防ぐため、畦畔の草刈りと、適期の基本防除を徹底しましょう。
- 散布にあたっては水稻の生育状況を十分に確認し散布しましょう。
- 「てんたかく」と「コシヒカリ」は防除のタイミングが異なるので、下の表を目安に適期に防除してください。
- 農薬を散布するときは、散布用マスクや手袋を必ず着用して安全に作業しましょう。



【防除時期の目安】 ※各ほ場の生育状況に合わせて、適期防除の実施をお願いします。

品種 (田植時期)	てんたかく (連休)		品種	コシヒカリ (5/10 頃)	
出穂期 (予想)	7月23~25日頃		出穂期 (予想)	8月2日~4日頃	
散布時期	薬剤名・散布量	対象病虫害	散布時期	薬剤名・散布量	対象病虫害
穂ばらみ期 (出穂14日前) 7月9~11日	ビームバシボン粉剤5DL 散布量: 4kg/10a (収穫14日前まで)	紋枯病・いもち病 ウンカ類・カメムシ類	出穂始期 (出穂1~2割の時期) 7月30日~8月1日頃	ビームバシボン粉剤5DL 散布量: 4kg/10a (収穫14日前まで)	紋枯病・いもち病 ウンカ類・カメムシ類
穂揃期 (穂が出そろった頃) 7月27~29日頃	ラブサイドキラップ粉剤DL 散布量: 4kg/10a (収穫14日前まで)	いもち病・ウンカ類 カメムシ類	穂揃期 (穂が出そろった頃) 8月6~8日頃	ラブサイドキラップ粉剤DL 散布量: 4kg/10a (収穫14日前まで)	いもち病・ウンカ類 カメムシ類
傾穂期 (穂揃期の7日後) 8月3~5日頃	エルサン粉剤3DL 散布量: 3kg/10a (収穫7日前まで)	カメムシ類			

- ◎ 農薬は使用基準を守って正しく使用しましょう。
- ◎ 農薬は飛散防止のため、風のない時に散布しましょう。
- ◎ 生産履歴簿、GAPの記帳は速やかに行いましょう。